



眼障害

眼科

症状

霧視
視野狭窄
飛蚊症
羞明感
視力低下
眼痛
充血

CTCAE Grade	投与の可否	対処方法
Grade1 ●無症状;臨床所見または検査所見のみ	投与を継続	眼科にコンサルト 人工涙液
Grade2 ●前部ぶどう膜炎(虹彩炎、虹彩毛様体炎);内科的治療を要する または ●症状があり、身の回り以外の日常生活動作の制限;中等度の視力低下(0.5以上)	投与を休止	眼科にコンサルト ステロイド点眼薬、調節機能改善点眼薬 全身性ステロイド投与を考慮する Grade 1に改善したら投与を再開する
Grade3 ●後部ぶどう膜炎(脈絡膜炎)、びまんせいぶどう膜炎 または ●症状があり、身の回りの日常生活動作の制限;顕著な視力低下(0.5未満)	投与を中止	眼科にコンサルト プレドニゾロン1~2mg/kgまたはメチルプレドニゾロン0.8~1.6mg/kgなどのステロイド全身投与 ステロイド点眼薬 全身性ステロイドの投与にもかかわらず、改善が認められない場合または悪化した場合→追加の免疫抑制療法*を考慮
Grade4 ●罹患眼の失明(視力0.1以下)	投与を中止	眼科にコンサルト プレドニゾロン1~2mg/kgまたはメチルプレドニゾロン0.8~1.6mg/kgなどのステロイド全身投与 ステロイド点眼薬 全身性ステロイドの投与にもかかわらず、改善が認められない場合または悪化した場合→追加の免疫抑制療法*を考慮

*インフリキシマブまたは他の抗TNF- α 抗体薬などが考慮される(保険適応外)

